資料４

第1回　調布市生涯学習推進協議会（第14期）

議　題

１　調布市生涯学習推進協議会について

２　前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

３　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

４　生涯学習分野における社会動向について

５　生涯学習に係るアンケート（案）・関係団体ヒアリング（案）について

令和8年9月17日
生活文化スポーツ部文化生涯学習課

１ 調布市生涯学習推進協議会について

概要

【概要】
調布市生涯学習推進協議会条例に位置付ける協議会

【目的】
市における生涯学習社会の形成を推進するため

【役割】
協議会は、市長の諮問に応じ、前条の目的を達成するために必要な生涯学習事業及び生涯学習施設の在り方について検討協議し、答申する。

【構成】
生涯学習について広い識見と経験を有する者のうちから市長が委嘱する委員10人以内

【任期】
委員の任期は、２年

1　調布市生涯学習推進協議会について

概要

【沿革】

期・任期	提言・答申	期・任期	提言・答申
第１期 (H3.1～H5.5)	（答申）調布市における生涯学習の推進を図るための基本的な方策について	第８期 (H18.3～H20.2)	（提言）生涯学習によるまちづくりにおける団塊の世代の地域での活動推進施策に関する提言
第２期 (H5.6～H7.5)	計画策定への検討協議	第９期 (H20.7～H22.7)	（提言）生涯学習の成果をまちづくりに活かすための方策に関する提言
第３期 (H7.6～H9.5)	『生涯学習推進計画』	第１０期 (H22.10～H24.9)	（答申）調布市における生涯学習振興の基本的な方策について
第４期 (H9.6～H11.5)	計画の推進等の進行管理	第１１期 (H24.10～H26.9)	『調布市生涯学習振興プラン～一人ひとりの学びでつながるぬくもりあるまちを目指して～』 （提言）「調布市生涯学習振興プラン」推進のための方策について
第５期 (H11.6～H13.5)	生涯学習・まちづくり・ボランティアを支援する総合センターの設置		
第６期 (H13.9～H15.8)	『文化・生涯学習によるまちづくり推進計画』	第１２期 (H27.7～H29.6)	（報告）調布市生涯学習振興プランに基づく各種取組の新たな展開のために～プラン策定から３年間の振り返り～
第７期 (H15.11～H17.8)	（答申）生涯学習によるまちづくりの拠点としての公共施設の在り方について	第１３期 (R4.12～R6.11)	（答申）調布市における生涯学習の振興に向けた基本的な考えについて

２ 前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

答申の概要

１ 主な検討の論点

（1） 人生100年時代を見据えた幅広い年代の方を対象とした生涯学習の推進

（2） 多様な主体と連携した生涯を通じた学びの支援の在り方

２ 答申の概要
（1） 生涯学習の振興に向けた基本的な考え

・市においては，“人生100年時代”を見据え，幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや，一人一人が，性別や国籍，障害の有無等に関わらず，それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し，その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む必要がある。

・こうした生涯学習を取り巻く社会潮流や，国及び東京都の動向などを踏まえ，様々な特色を有する相互友好協力協定を締結する大学や，包括協定を締結する事業者のほか，「ちょうふ市民カレッジ」をはじめとする各種生涯学習の機会を提供する調布市文化・コミュニティ振興財団など，市の強みである多様な主体と連携を図りながら学ぶことができる環境づくりや，学んだ成果をまちづくりに生かす取組を期待する。

2　前回(第13期)調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

答申の概要

（2）基本的な考えを踏まえた4つの取組テーマ

テーマ1　“人生100年時代”を見据えた誰もが生涯学習に取り組むことができるまちづくり

テーマ2　生涯学習に取り組む市民からの相談への対応や情報共有の充実

テーマ3　産学官による多様な主体と連携した学びの場の充実

テーマ4　学びの成果を生かすことができる環境の充実

調布市基本計画

施　策１２　生涯学習のまちづくり

【施策の方向】

誰もが生涯を通じて、自由かつ主体的に学習に取り組むことができる環境を充実させるとともに、一人一人の知識や経験、学びの成果を生かし、交流を深めながら、自分らしく暮らせるまちを目指します

【基本的取組】

①学びのきっかけづくり

②学べる機会の充実

③学びの活動支援

④まちづくりへの学びの成果の活用

２　前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

テーマごとの取組

①　テーマ1　“人生100年時代”を見据えた誰もが生涯学習に取り組むことができるまちづくり

“人生100年時代”を見据え、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが、生涯を通じた学びに取り組むことができ、その学びを深めていくことができるよう、多様な主体と連携し、学びの機会や場の充実に取り組む。

【これまでの取組例】



パラアート展



調布市パラスポーツ体験会



日本語教室

2　前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

テーマごとの取組

②　テーマ2　生涯学習に取り組む市民からの相談への対応や情報共有の充実

生涯学習に取り組む市民団体等の活動における各種相談への対応や、各種媒体の活用に加え、アウトリーチによる情報発信など、創意工夫を重ねながら、より広く市民への周知を図ることができるよう、情報共有の充実に取り組む。

【これまでの取組例】



生涯学習情報コーナー



ちょうふ地域コミュニティサイト
「ちょみっと」



地域デビュー

2　前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

テーマごとの取組

③　テーマ3　産学官による多様な主体と連携した学びの場の充実

生涯学習の活動拠点の一つである文化会館たづくりの運営を担う調布市文化・コミュニティ振興財団や、特色を生かした市民向け公開講座等を開催する相互友好協力協定締結大学をはじめ、多様な主体と連携した学びの機会や場の充実に取り組む。

【これまでの取組例】



大学の公開講座
（**相互友好協力協定締結大学**）



調布サマーボランティア
（市民活動支援センター）



生涯学習講演会、文化講座
（調布市文化協会）

２　前回（第13期）調布市生涯学習推進協議会答申と市の取組について

テーマごとの取組

④　テーマ４　学びの成果を生かすことができる環境の充実

市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍することができるよう、学習の成果をまちづくりに生かすことができる機会や場の充実に向けて取り組む。

【これまでの取組例】



まち活フェスタ



ピース部



日本語で話そう会

3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

調布市民意識調査報告書　令和7年度
調査期間　令和7年12月1日～12月25日
対象者　市内在住の満16歳以上　3，000人を無作為抽出
回収数　1，370

第３章　調査結果＜日ごろの意識や行動＞

【生涯学習について】

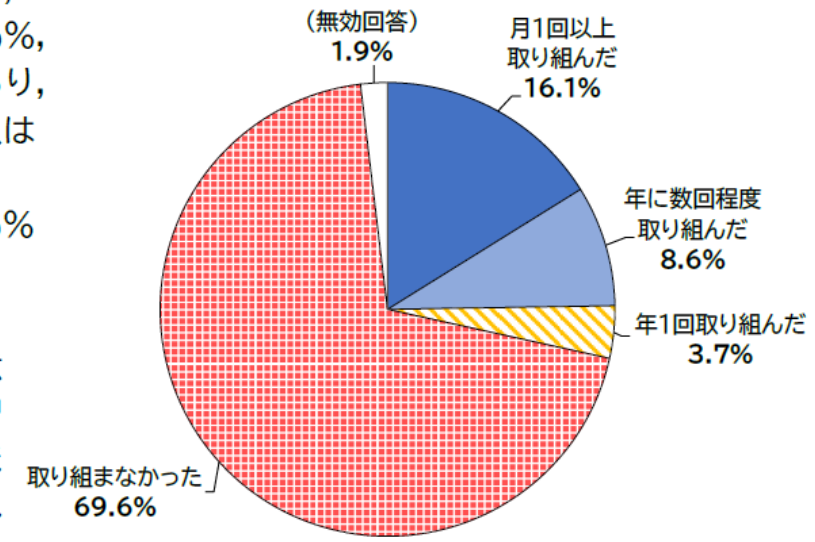
問 28）あなたは，この１年間に，生涯学習※に取り組みましたか。

＜全体（n=1,370）＞

○「月１回以上取り組んだ」が 16.1%，「年に数回程度取り組んだ」が 8.6%，「年 1 回取り組んだ」が 3.7%であり，生涯学習に年１回以上取り組んだ人は合計で 28.4%となっています。

○一方，「取り組まなかった」は 69.6%となっています。

※「生涯学習」とは，人々が自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のことで，学校や社会教育施設のほか，家庭・職場・地域などで行われる学習や，文化・スポーツ・レクレーション・ボランティア・趣味など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

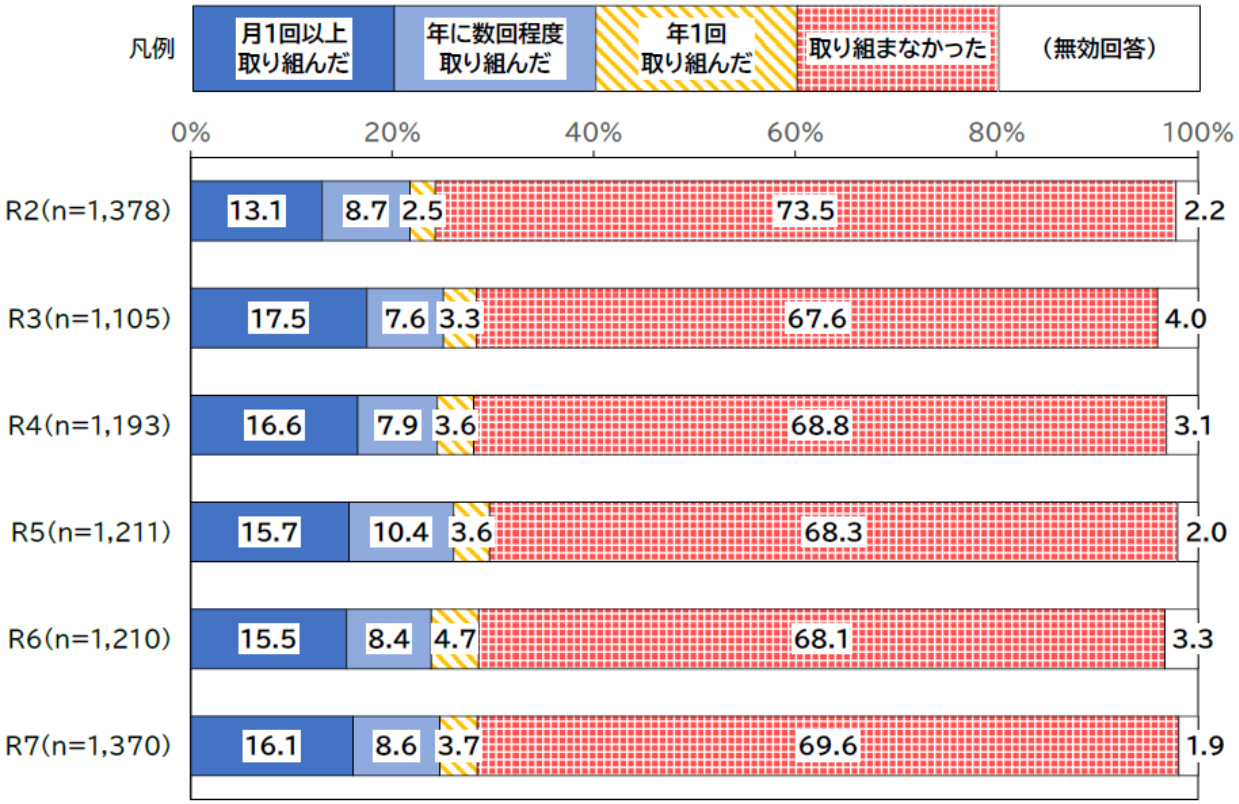


3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

＜経年比較＞

○「取り組んだ」の合計（28.4%）は，令和 6 年度（28.6%）に比べて 0.2 ポイント減少しています。

○「取り組まなかった」（69.6%）は，令和 6 年度（68.1%）に比べて 1.5 ポイント増加しています。

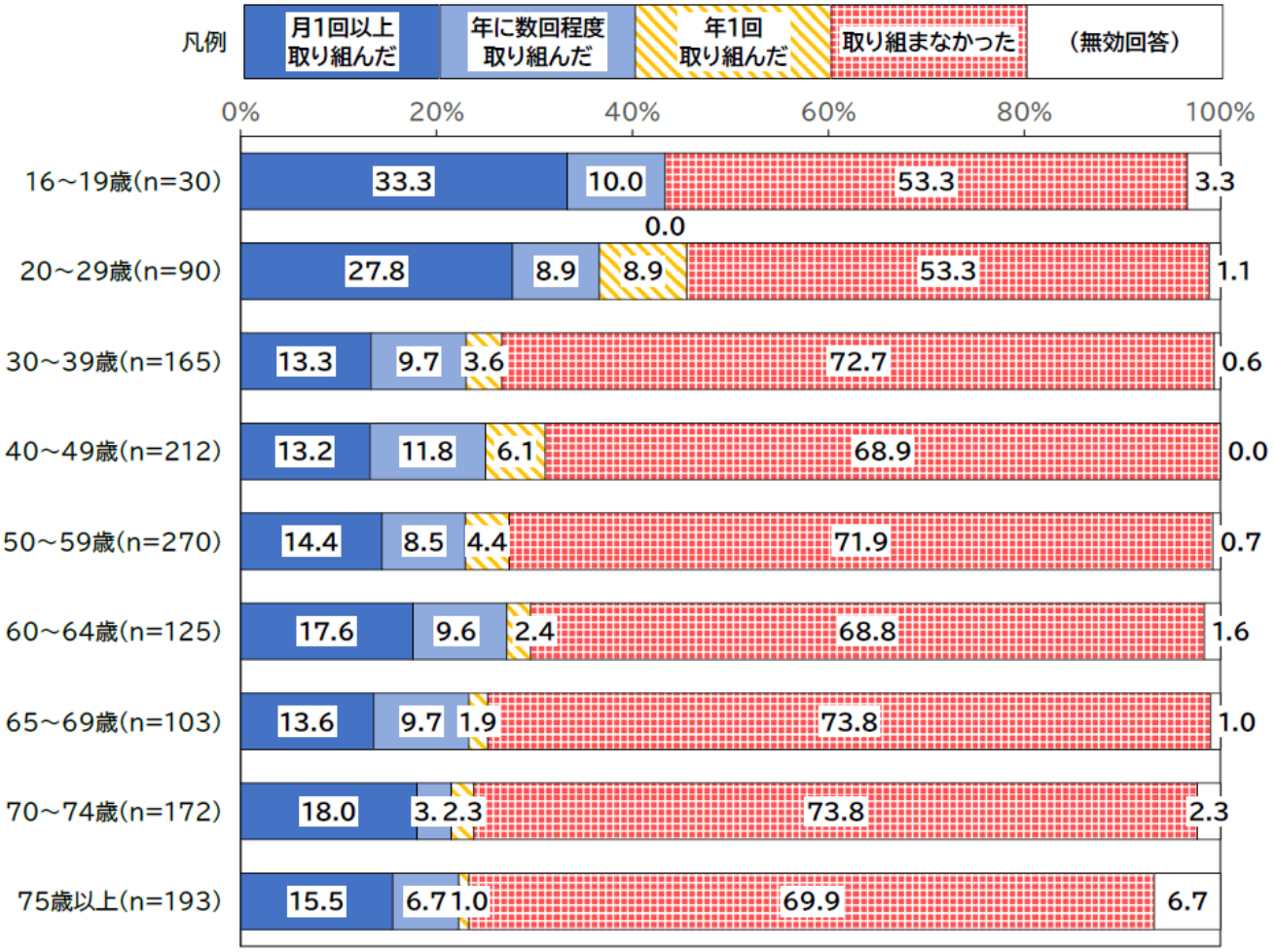


3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

第３章　調査結果＜日ごろの意識や行動＞

＜年齢層別＞

〇生涯学習に年１回以上取り組んだ方の割合は 29 歳以下で 40%を超えています。



3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

＜自由記述＞主な意見を抜粋

【図表　生涯学習に関する施策についてのご意見・ご提案】（54 件）

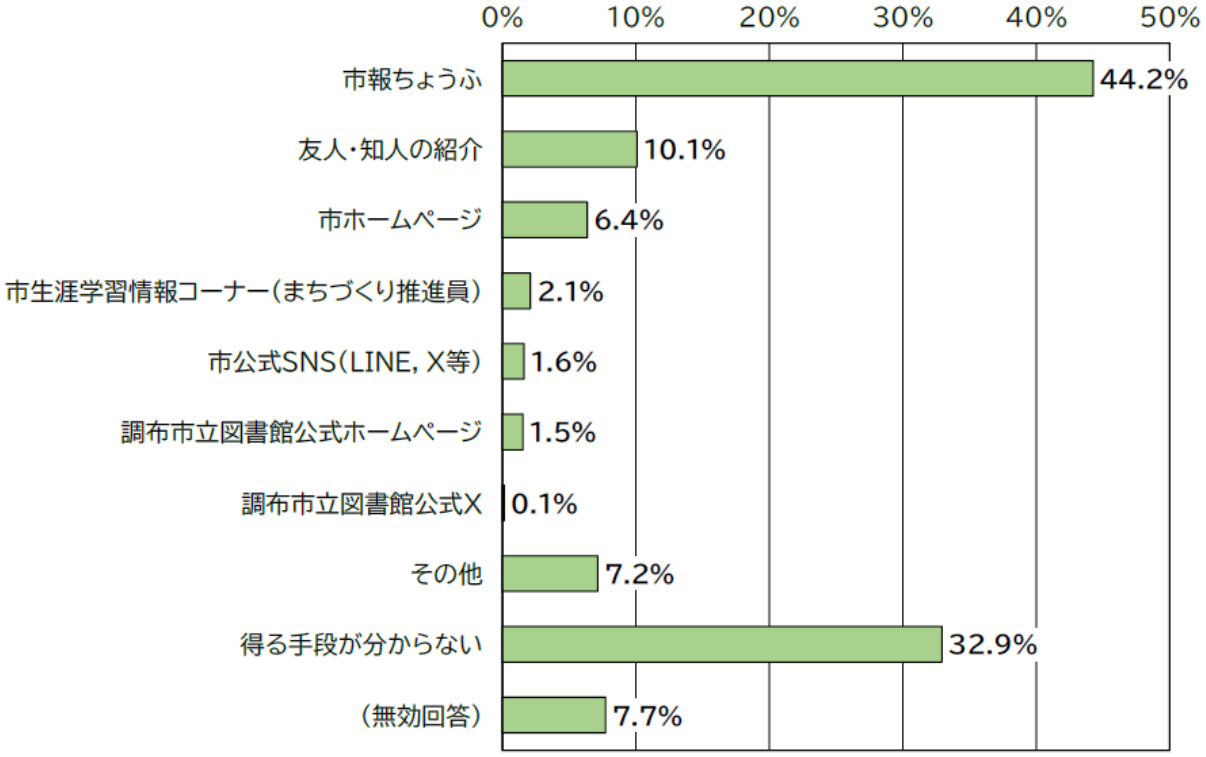
・平日昼間だけではなく，現役で働いている人も参加できる日時あるいはオンライン等で学習の機会を得られるようにしていただきたい.
・障害者などの外出が困難な人々への対策
・自治体が取り組むべき事項ではない。
・子供（幼児，乳児）と参加できる内容が多いと参加しやすい。
・ＳＮＳや動画で宣伝。市民に見てもらえるよう企画をしっかり考える（ただ宣伝すればいいものではない）
・どこで何をやっているのか，わからない。

3 調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

問 29）あなたは，生涯学習に関する情報を何から入手していますか。

＜全体（n=1,370）＞

○生涯学習に関する情報の入手経路としては，「市報ちょうふ」が 44.2%で最も高く，次いで「友人・知人の紹介」の 10.1%，「市ホームページ」の 6.4%の順となっています。一方で，「得る手段が分からない」は 32.9%となっています。



3 調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

＜年齢層別＞

○いずれの年齢層も「市報ちょうふ」が最も高くなっています（29 歳以下は「友人・知人の紹介」は同率１位）。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市報ちょうふ	606	3	10	56	75	122	56	62	98	119
	44.2%	10.0%	11.1%	33.9%	35.4%	45.2%	44.8%	60.2%	57.0%	61.7%
市ホームページ	87	2	2	4	11	12	18	15	12	11
	6.4%	6.7%	2.2%	2.4%	5.2%	4.4%	14.4%	14.6%	7.0%	5.7%
市公式SNS(LINE, X等)	22	1	3	0	3	8	2	3	0	2
	1.6%	3.3%	3.3%	0.0%	1.4%	3.0%	1.6%	2.9%	0.0%	1.0%
調布市立図書館公式ホームページ	21	0	2	0	4	4	2	3	3	3
	1.5%	0.0%	2.2%	0.0%	1.9%	1.5%	1.6%	2.9%	1.7%	1.6%
調布市立図書館公式X	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
友人・知人の紹介	138	3	10	11	21	24	9	8	21	31
	10.1%	10.0%	11.1%	6.7%	9.9%	8.9%	7.2%	7.8%	12.2%	16.1%
市生涯学習情報コーナー(まちづくり推進員)	29	0	0	4	3	3	3	2	6	7
	2.1%	0.0%	0.0%	2.4%	1.4%	1.1%	2.4%	1.9%	3.5%	3.6%
その他	98	0	9	13	15	25	13	8	7	7
	7.2%	0.0%	10.0%	7.9%	7.1%	9.3%	10.4%	7.8%	4.1%	3.6%
得る手段が分からない	451	19	47	70	81	87	36	28	44	36
	32.9%	63.3%	52.2%	42.4%	38.2%	32.2%	28.8%	27.2%	25.6%	18.7%
(無効回答)	106	4	12	15	17	13	10	1	12	21
	7.7%	13.3%	13.3%	9.1%	8.0%	4.8%	8.0%	1.0%	7.0%	10.9%

（上段:実数(人), 下段:構成比）

回答割合が最も高い:　　回答割合が2番目に高い:

3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

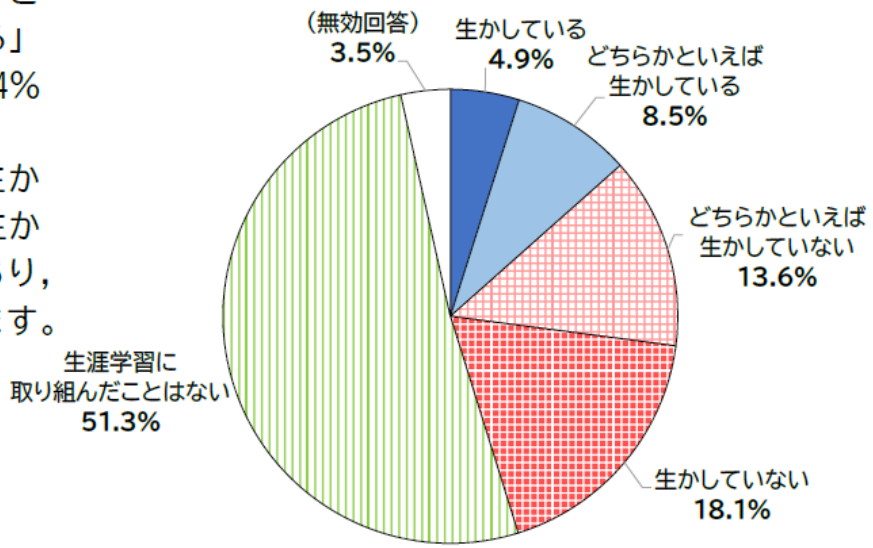
第３章　調査結果＜日ごろの意識や行動＞

問 30）あなたは，生涯学習を通じて身につけた知識・技能を，まちづくりや仲間づくり，地域活動など自分以外のために生かしていますか。

＜全体（n=1,370）＞

○「生かしている」は 4.9%，「どちらかといえば生かしている」は 8.5%であり，合計で 13.4%となっています。

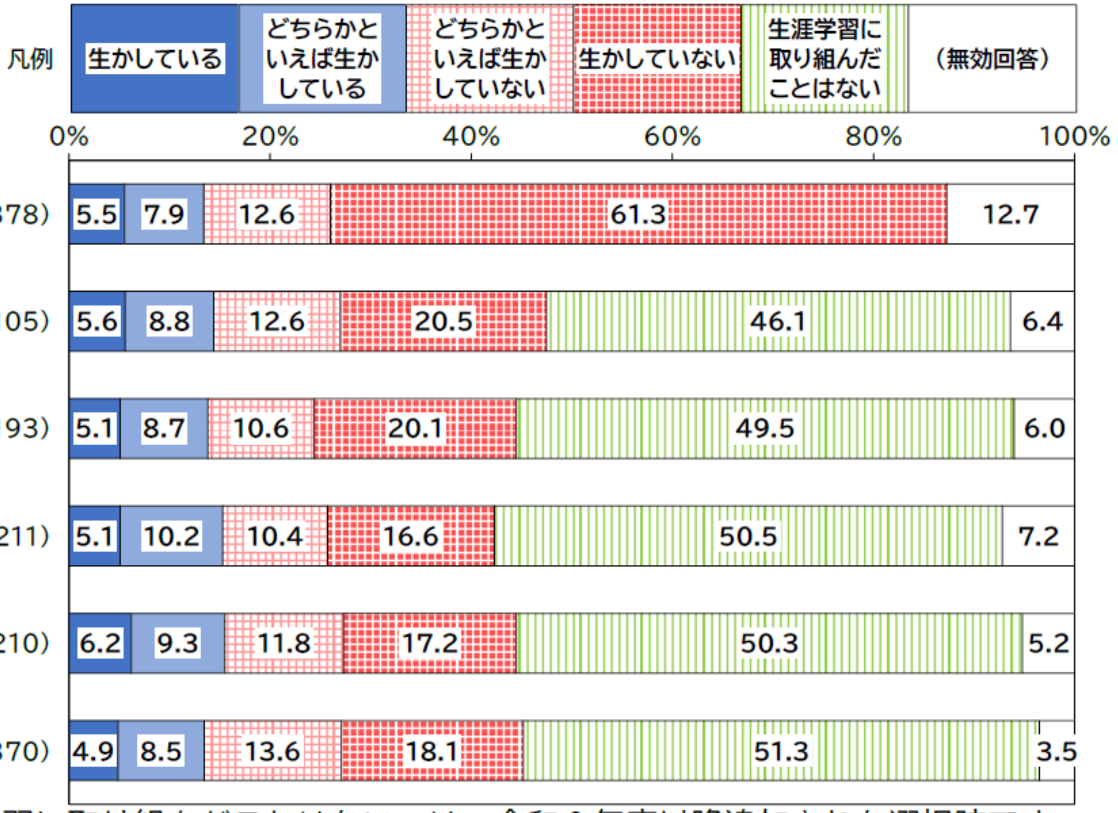
○一方，「どちらかといえば生かしていない」は 13.6%，「生かしていない」は 18.1%であり，合計で 31.7%を占めています。



3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

＜経年比較＞

○「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計（13.4%）は，令和 6 年度（15.5%）に比べて 2.1 ポイント減少しています。



※「生涯学習に取り組んだことはない」は，令和 3 年度以降追加された選択肢です。

3　調布市の生涯学習施策の評価・振り返りについて

主な意見（過去４年間の市民意識調査自由記入欄）	今後検討すべき内容
平日日中の開催や高齢者中心のイメージが強く、働く世代や子育て世代が参加しにくい ・平日昼間以外にも参加できる機会が欲しい ・夜間・土日に実施してほしい ・オンライン受講や動画配信を充実してほしい ・生涯学習は高齢者向けの印象がある ・子ども・乳児連れで参加できる事業を増やしてほしい ・赤ちゃん連れでも参加できる習い事が欲しい ・年齢層が高く参加しにくい	**働く世代・子育て世代も参加できる学習機会の充実** ・夜間・休日講座の拡充 ・オンライン受講やアーカイブ配信の充実 ・子ども連れ参加可能な講座の実施 ・若年層や働く世代向け講座の充実 ・多世代交流・新規参加者歓迎の仕組みづくり
取組や講座情報が十分に市民へ届いておらず、参加機会につながっていない ・何をどこで実施しているのかわからない ・市の取組を知らなかった ・生涯学習情報を充実してほしい ・SNSや動画を活用して広報してほしい ・年齢層やライフスタイルに応じた情報提供が必要	**生涯学習に関する情報発信・周知の強化** ・SNS・動画等を活用した情報発信の強化 ・講座・イベント情報の一元化 ・年代やライフステージに応じた情報提供 ・市民が必要な情報へ容易にアクセスできる仕組みの整備
学習活動に参加したくても参加できない ・障害者など外出が困難な人への配慮が必要 ・時間的・金銭的余裕がない ・図書館を充実してほしい ・公共施設をもっと借りやすくしてほしい ・利用料金や手続きを見直してほしい ・Wi-Fi環境を整備してほしい ・道具のレンタル制度を充実してほしい	**誰もが参加しやすい学習・活動環境の整備** ・オンライン活用による外出困難者への支援 ・公共施設の利便性向上や学習環境の整備 ・負担を抑えた参加しやすい学びの環境づくり

「取組の充実」だけではなく「参加障壁の解消」も

４ 生涯学習分野における社会動向について

《第4期教育振興基本計画（R5～R9）》

（総括的な基本方針・コンセプト）
・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

（5つの基本的な方針）
①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

「目標8 生涯学び、活躍できる環境整備」
人生100年時代を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現のためにも、人生の各場面で生じる個人や社会の課題の解決につながる学習機会が保障され、学ぶことで充実感を得て継続的な学びにつながるよう、生涯学び、活躍できる環境を整備する。多様な世代への情報提供や学習成果の可視化、仲間とつながりながら学ぶことができる環境整備を図る。

（基本施策）
・大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実　・働きながら学べる環境整備
・リカレント教育のための経済支援・情報提供　・現代的・社会的課題に対応した学習
・女性活躍に向けたリカレント教育の推進　・高齢者の生涯学習の推進
・リカレント教育の成果の適切な評価・活用　・生涯を通じた文化芸術活動の推進

5 生涯学習に係るアンケート(案)

生涯学習に係るアンケート(案)

【目的】
今後の生涯学習施策の参考とするため、生涯学習に現在取り組んでいるもしくは取り組む予定である市民(個人及び団体)の意見を聴取する。

【対象】
・生涯学習関連団体
・生涯学習関連施設利用者
・生涯学習関連事業参加者　など

【回答期間】9月20日～10月10日(予定)

【配付・回収方法】アンケート用紙(裏表1枚)とLoGoフォームによる実施
・アンケート用紙:公共施設及び協力施設等に配架、講座・イベント参加者等に配付
⇒FAX、メール、持込等で受付
・LoGoフォーム:LINE・メール等で配信のほか、アンケート用紙にもQRコードを掲載

【回収目標数】400件程度

【スケジュール】
9月20日～10月10日　アンケート配布・配信
10月10日～中旬　　アンケート集計
10月中旬　　第2回協議会にて報告⇒課題整理、方向性検討

５ 生涯学習に係るアンケート（案）

生涯学習に係るアンケート（案）

問1　あなた（回答者）についてお尋ねします。
あなたの年齢（　　）歳　　お住いの地域（町名）（　　）　（例：小島町）

問2　あなたは、過去1年間において、生涯学習をしたことはありますか。
□ある　□ない

問2―1「ある」と回答した方へ、生涯学習で学んだことをどのようなことに生かしていますか。（複数回答可）
□仕事や就職　□家庭・日常生活　□地域活動・ボランティア　□スポーツ・文化活動
□健康増進　　□学業・学校生活　□その他（　　）
□生かしていない・わからない

問2―2「ない」と回答した方へ、生涯学習をしなかった理由を教えてください。（複数回答可）
□時間がない　□興味がない　□興味があるが、どのようなものがあるかわからない
□健康に不安がある　□その他（　　）

５ 生涯学習に係るアンケート（案）

問3　生涯学習に関する情報を何から入手していますか。（複数回答可）
□市報ちょうふ　□市ホームページ　□市公式SNS（LINE、X等）　□友人・知人の紹介
□生涯学習情報コーナー（まちづくり推進員）　□地域コミュニティサイト「ちょみっと」
□AIに聞く　□その他（　　）　□得る手段がわからない

問4　あなたは今後、どのような生涯学習をしてみたいですか。（複数回答可）
□市や関連団体のイベント・講座　□市民団体のイベント・講座　□サークル活動　□ボランティア活動
□近隣大学の公開講座　□調布市文化・コミュニティ振興財団の講座
□その他（　　）　□わからない・興味がない

問5　これから生涯学習を始めるために、どのようなきっかけづくりの取組があると良いと思いますか。（複数回答可）
□定期的なイベントの実施　□市の生涯学習に関する情報発信　□調べるための機会・場所が身近にある（専門職員の地域への派遣など）
□初めてでも気軽に参加できる機会がある
□その他（　　）

５ 生涯学習に係るアンケート（案）

問●（新規） 生涯学習で学んだことを生かすために、どのような支援が必要だと思いますか。
□実践できる場の紹介・コーディネート □実践できる場所（活動拠点）の確保
□実践するための方法（企画運営スキル）が学べる □その他（ ）
□生かしたいと思わない

問6 市民の生涯学習がさらに充実するために、調布市が今後、最も重点的に取り組むべきことは何だと考えますか。（複数回答可）
□市の生涯学習に関する情報発信
□調べるための機会・場所が身近にある（専門職員の地域への派遣など）
□きっかけづくりの取組（スタートイベント、体験会など）
□誰もが参加しやすい学習・活動環境の整備
（休日夜間やオンライン講習の充実、託児サービスや障害者サポートなど）
□成果を生かすための機会・場所が身近にある（知識や技術を生かせる団体の紹介など）
□その他（ ）

5　関係団体ヒアリング（案）について

関係団体ヒアリング（案）

分　類	団　体　名
障害者団体	NPO法人 調布心身障害児・者親の会
地域団体	地区協議会・自治会・市民活動支援センター
外国人	調布市国際交流センター
協定大学	国立大学法人 電気通信大学

今後のスケジュールについて

